

市政に新風を

市政
報告

横浜市議員

つきいちかい

ふしみ

月一会 伏見ゆきえ



決算第一特別委員会局別審査

医療局・医療局病院経営本部関係

1. みなと赤十字病院における医療事故
2. 産科拠点病院

私は、25 年前に市民病院で出産をしましたが、今でも当時と変わらず 2 台の分娩台で運用されています。当時の分娩件数は年間 588 件ですが、現在も当時と変わらない環境で約 2 倍の 1080 件の分娩を扱っています。横浜市では 3 病院を産科拠点病院に指定し、その中の一つが市民病院ですが周産期医療に大きく貢献しています。

3. 小児救急医療体制
4. 女性医師に対する支援

働く女性の視点から、課題の大きいとされている女性医師に対する支援について伺いました。女性医師がライフステージに応じて活躍できる環境を整え、多くの女性医師の活躍を支援することが、横浜の医療を充実したものにしていく上でも重要だと考えます。

5. 地域医療構想
6. 病院事業計画の平成 26 年度決算
7. 市民病院再整備

市民病院は、施設・設備の老朽化、狭あい化によって、医療の高度化など新たな医療ニーズへの対応が困難となっていることなどから再整備に取り組むことになってます。災害時には災害拠点病院として機能を強化できることを期待しています

8. 総合的ながん対策事業

健康福祉局関係

1. 障害者自立生活アシスタント事業

障害者の皆様が自己選択・自己決定のもと自分らしく地域の中で生活を営むことは大変大切なことと考えています。横浜市独自の事業である障害者自立生活アシスタント事業は利用者の方の障害特性や生活環境によって多種多様な条件を決め、細やかに自立に向けて支援していく大変効果的な取り組みです。

2. 障害者の移動支援施策
3. 第 2 期健康横浜 21



伏見ゆきえの連絡先

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町 389 ベルクール 102

TEL.045-443-5757 / FAX.045-443-5671 E-mail:office@fushimiyukie.com

4. がん検診

女性は職場でのがん検診の受診機会が少ない状況にありますが、女性特有のがんに対する取組の充実は重要です。医療技術は進歩しており、更なる受診率向上のために、新たな医療機器を活用した方法、女性の目線からの受診者の負担の少ない検査方法の取組を進めてもらえるよう要望しました。

5. 高齢者の健康づくり

6. 高齢者等の孤立化・孤立死防止のための取り組み
ヤクルトレディの経験から人と人がつながることで、誰かを見守る大切さを学びました。大都市でありながら、地域、関連事業者、行政がしっかりと連携し取り組んでいるところが横浜の強みです。支え合う地域づくりは、大きな災害が発生した場合にも、自力では避難が困難な方々を迅速かつ的確に支援につなげる上で重要な力になると考えます。



ゆきえのゆくえ

地域のオリエンテーションも増えてきています。バスのお見送りも皆さんと直接お話できる大切な時間です。



とつかのやさい

大根もこんなに見事な葉っぱつき!甘辛〜く炒めてみましたが、新鮮だと何でも美味しいですね。



今月のゆきねえ (編集後記)

4月の統一地方選挙で初当選をさせて頂きました。ご支援頂きましたみなさまに感謝御礼申し上げますと共に女性としての目線もしっかりと持ちながらつとめて参ります。今年は、常任委員会、こども・青少年教育委員会、特別委員会、減災対策推進委員会に所属をしています。常任委員会では、福岡市議会、児童相談所の取組 岡山市立図書館視察特別委員会、市民病院災害本部等の視察の他、札幌市議会 防災訓練視察、横浜消防本部被災地視察、南相馬市・石巻市被災地、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校等ありました現場に行かないと分からない事も沢山ありました。これらの活動を活かし、無駄にしないように取り組んで参ります。